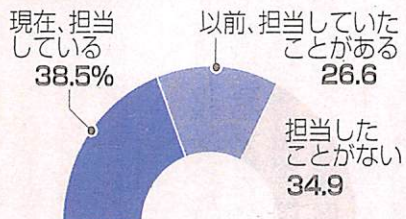


# 県内ケアマネジャー調査 プライドが原因か

男性介護者の孤立を感じた介護支援  
専門員(ケアマネジャー)の割合



孤立していると思われる原因(複数回答)



山梨県は家族を介護する男性に関する実態調査を行い、9日に結果を公表した。県内の介護支援専門員(ケアマネジャー)への調査では、担当する男性介護者のうち「介護のために孤立していると思われる人」は6割超に上った。原因は「1人で抱え込む」「弱音を言わない」が上位を占めており、地域との関わりが希薄で、孤立しがちとされている男性特有の課題が浮き彫りになった。県は「プライドが邪魔をして弱音を吐けず、孤立状態になっている」と分析。本格的な支援に乗り出すため、6月補正予算に必要な経費を計上する。

〈野口健介〉

# 男性介護者6割「孤立」

調査は県が昨年12月、男性介護者の支援に取り組む「山梨やろの会」(清水昭二会長)に委託して実施。県介護支援専門員協会を通じ、ケアマネジャー143人と、要介護1以上の家族を主体的に介護する男性268人を対象に行った。

ケアマネジャーを対象とした調査では、担当している男性介護者の中に「介護のために孤立していると思われる人がいるかを尋ねたところ、現在、担当しているのは38.5%、「以前、担当していた」は26.6%で、合わせて65.1%(93人)。県健康長寿推進課は「孤立が続けば虐待や自殺などにつながる恐れがある」と指摘する。

調査は県が昨年12月、男性介護者の支援に取り組む「山梨やろの会」(清水昭二会長)に委託して実施。県介護支援専門員協会を通じ、ケアマネジャー143人と、要介護1以上の家族を主体的に介護する男性268人を対象に行った。

ケアマネジャーを対象とした調査では、担当している男性介護者の中に「介護のために孤立していると思われる人がいるかを尋ねたところ、現在、担当しているのは38.5%、「以前、担当していた」は26.6%で、合わせて65.1%(93人)。県健康長寿推進課は「孤立が続けば虐待や自殺などにつながる恐れがある」と指摘する。

Hello Kitty  
© 2022 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. L231702  
ハローキティ探そう!  
ヒントは「600回で卒業」だよ!

調査は県が昨年12月、男性介護者の支援に取り組む「山梨やろの会」(清水昭二会長)に委託して実施。県介護支援専門員協会を通じ、ケアマネジャー143人と、要介護1以上の家族を主体的に介護する男性268人を対象に行った。

ケアマネジャーを対象とした調査では、担当している男性介護者の中に「介護のために孤立していると思われる人がいるかを尋ねたところ、現在、担当しているのは38.5%、「以前、担当していた」は26.6%で、合わせて65.1%(93人)。県健康長寿推進課は「孤立が続けば虐待や自殺などにつながる恐れがある」と指摘する。

調査は県が昨年12月、男性介護者の支援に取り組む「山梨やろの会」(清水昭二会長)に委託して実施。県介護支援専門員協会を通じ、ケアマネジャー143人と、要介護1以上の家族を主体的に介護する男性268人を対象に行った。

ケアマネジャーを対象とした調査では、担当している男性介護者の中に「介護のために孤立していると思われる人がいるかを尋ねたところ、現在、担当しているのは38.5%、「以前、担当していた」は26.6%で、合わせて65.1%(93人)。県健康長寿推進課は「孤立が続けば虐待や自殺などにつながる恐れがある」と指摘する。

調査は県が昨年12月、男性介護者の支援に取り組む「山梨やろの会」(清水昭二会長)に委託して実施。県介護支援専門員協会を通じ、ケアマネジャー143人と、要介護1以上の家族を主体的に介護する男性268人を対象に行った。

ケアマネジャーを対象とした調査では、担当している男性介護者の中に「介護のために孤立していると思われる人がいるかを尋ねたところ、現在、担当しているのは38.5%、「以前、担当していた」は26.6%で、合わせて65.1%(93人)。県健康長寿推進課は「孤立が続けば虐待や自殺などにつながる恐れがある」と指摘する。

調査は県が昨年12月、男性介護者の支援に取り組む「山梨やろの会」(清水昭二会長)に委託して実施。県介護支援専門員協会を通じ、ケアマネジャー143人と、要介護1以上の家族を主体的に介護する男性268人を対象に行った。

ケアマネジャーを対象とした調査では、担当している男性介護者の中に「介護のために孤立していると思われる人がいるかを尋ねたところ、現在、担当しているのは38.5%、「以前、担当していた」は26.6%で、合わせて65.1%(93人)。県健康長寿推進課は「孤立が続けば虐待や自殺などにつながる恐れがある」と指摘する。

調査は県が昨年12月、男性介護者の支援に取り組む「山梨やろの会」(清水昭二会長)に委託して実施。県介護支援専門員協会を通じ、ケアマネジャー143人と、要介護1以上の家族を主体的に介護する男性268人を対象に行った。

ケアマネジャーを対象とした調査では、担当している男性介護者の中に「介護のために孤立していると思われる人がいるかを尋ねたところ、現在、担当しているのは38.5%、「以前、担当していた」は26.6%で、合わせて65.1%(93人)。県健康長寿推進課は「孤立が続けば虐待や自殺などにつながる恐れがある」と指摘する。

調査は県が昨年12月、男性介護者の支援に取り組む「山梨やろの会」(清水昭二会長)に委託して実施。県介護支援専門員協会を通じ、ケアマネジャー143人と、要介護1以上の家族を主体的に介護する男性268人を対象に行った。

ケアマネジャーを対象とした調査では、担当している男性介護者の中に「介護のために孤立していると思われる人がいるかを尋ねたところ、現在、担当しているのは38.5%、「以前、担当していた」は26.6%で、合わせて65.1%(93人)。県健康長寿推進課は「孤立が続けば虐待や自殺などにつながる恐れがある」と指摘する。

県中西部



降水確率(%)

6~12時	10
12~18時	10
18~24時	10
最低	14
最高	25

県東部五湖



降水確率(%)

6~12時	10
12~18時	10
18~24時	10
最低	7
最高	19

詳細は2面に

Ma  
おかげ  
10  
丸十の日  
Since  
丸十山梨  
本 店 宅配サー  
甲府市丸の内2-28-  
4月・金>6:30-18:00  
竜王店  
パークス竜王店内

5 / 10

(5)

発行所  
山梨日日新聞社  
〒400-0851 甲府市北口2-16-10  
電話(055)331-3000  
編集23113111 事業23113121 広告23113131  
FAX23113161 出版23113105 販売23113132  
©山梨日日新聞社2022年

きょうの紙面

テレビラジオ  
ロシア 戦果の誇り

時考  
典で演説。「ウクライナ政権に迫害された住民を救う」との建前だったが、不発に。

●GW活況「相定」

# 葦崎ジャーナル

株式会社ピー・エス・ワイ  
 葦崎ジャーナル編集部  
 発行責任者 小泉 徹  
 葦崎市若宮1-3-18若宮ビル2F

2016年5月10日 創刊 発行日：毎月5日発行

TEL0551-45-6885(代) FAX0551-45-7370

人口28,464人(男14,299人(-2)、女14,165人(-11)) 12,716世帯(+46) (4月1日現在)

## ペイペイで事

1回の買い物で、最大3

ペーンをスタートした。期間は6月30日まで。このキャンペーンは、ペイペイを使って買い物をすると20%のポイントが付与されるもので、1回の支払いでの最大ポイントの付与は3,000円相当(1万5,000円利用の場合)で、1カ月間のポイントは1人最大で1万円相当までになっている。ポイントの付与は支払いの翌日から30日後



創業昭和5年  
**井筒屋醤油株式会社**  
 本社：葦崎の井筒屋  
 葦崎市本町2丁目9-26  
 TEL.22・2255(代)

「清水昭二会長」は、山梨県内の介護支援専門員と男性介護者に実施したアンケートをまとめた冊子「山梨県における男性介護者の現状と支援の課題」を発行した。(写真)

「介護支援専門員から見た男性介護者の現状」と男性介護者を対象にした「男性介護者の現状と支援の課題」の2つのアンケートの結果になっている。「介護支援専門員から見た男性介護者の現状」では、

## 男性介護の不安は何？

### アンケートから見える課題紹介



PayPayで葦崎市を応援しよう！  
 対象店舗ならPayPayでお支払いすると最大20%戻ってくる  
 付与上限：3,000ポイント/回・10,000ポイント/月  
 2022.5.1(日)～6.30(木)

5月1日から始まったペイペイと利用紹介のQRコード

屋市実行委員会 ロシアによる軍事侵攻を受けているウクライナの避難民を支援しようと、4月8日、中央町にある飲食店街「アメリカヤ横丁」の店主などで行く「アメリカヤ横丁屋市」の募金と売上金の一部計1万2134円を葦崎市に届けた。(写真)

会場内に募金箱を設置。また、支援弁当の売上金の一部を加えたもの。当日は、同実行委員会さんの市役所を訪れ、岩尾代表が「ウクライナのニュースを見て、自分たちにも何かできないか」と思い寄付を呼びかけた。葦崎市を通して人道支援に役立て



が賛同していただけるのはありがたい。思いをくんで、確実に寄付を届ける」と話し、寄付金は日本赤十字社のウクライナ人道危機救援金に寄付するとしている。



県内の介護支援専門員730人にメールでアンケートを配信し、143人から回答があった。回収率は19・58%。「介護支援専門員の経験年数」や「男性介護者のなかで孤立している人

はいるか」など11項目の設問が用意され、「介護者が安心して介護を続けるために何を重要視しているか」では、「精神的サポート」や「ストレスの軽減」、「介護環境の改善」などが上位を占めている。

清水会長は、「現在介護を行っている人だけでなく、これから介護を始める人にも実際を知ってもらい、役立ててほしい」と話している。冊子は葦崎市立大村記念図書館で閲覧できる。問い合わせは☎090-8309-9365(清水)まで。

## 葦崎

葦崎ジャーナルは、葦崎市です。広告掲載各社のご協力により市内に配布しております。各種情報、広告掲載の申し込み(2,200円)をご希望の方は葦崎ジャーナル編集部